

## 健康診断で潰瘍性大腸炎の疑いを指摘され

### 松本医院を受診された方の手記

## 「潰瘍性大腸炎が短間期で快方へ」

匿名希望 42 歳

2015 年 10 月 16 日

平成 25 年の夏の人間ドックの結果で便潜血陽性の結果が出ました。そういえば、便に白い粘膜がつくことがあったなあと思い、大腸内視鏡検査を受けることにしました。内視鏡検査は時間もかかり、とても痛い思いをしました。結果は大腸の左側の一部に炎症があるということで、「潰瘍性大腸炎の疑い」との診断でした。

特に治療するわけではなく、「血便が出るようならまた来てください」と言われました。それまでは、血便には気が付きませんでした。内視鏡検査をしてからは、お尻を拭くと少し血が混じるようになったように思います。(潰瘍性大腸炎というよりは内視鏡検査の刺激でそうなったのかなと思いましたが)

そんな毎日を送っている中、「そろそろ病院に行った方がいいんじゃないか」と思うようになりました。インターネットでいろいろ潰瘍性大腸炎を調べていくうちに、「松本医院」を知り、「他の病院での治療でステロイドなどを使う前に、こちらでお世話になってみよう」と思い、平成 26 年 2 月に奈良から高槻の病院に行くことにしました。

他の方の手記などであるように、漢方薬、お灸、薬草風呂などで免疫力を上げるといって治療でした。病院にはたくさんの方の手記があり、多くの方が私よりひどい症状で治療を頑張っていることを知りました。ステロイドなどを使った治療を長くされていた方は特に大変な思いをされていたようで、免疫抑制剤を怖いと感じました。私の場合は炎症の値も低く、症状も軽いため、先生が少しびっくりされたのを覚えています。

先生からは、食事について

- ・肉、魚などのたんぱく質をとること（特に青魚）
- ・野菜をたくさんとること
- ・炭水化物はできるだけとらないように

との指導がありました。「なかなか米、麺類をとらないのは難しいなあ」と思いま

した。下痢が軟便になり、普通便になり、症状がほぼ出なくなりましたが、しばらくの間は、漢方薬の量を減らしながら続けていました。平成26年11月に最後の診察をしてもらい、治療を終えることができました。

さて、半年が経ち不摂生をしているわけではないのですが、食事をすると下痢が続くようになり、現在松本医院に漢方薬をいただきにきています。漢方を作ることも、ライフワークのようになり、漢方薬を飲み始めると食後の下痢もびたりと止まります。飲んでいると安心?のような気持ちになるので、精神安定にもつながっているのでしょうか。

再度来院するようになり、手記を書いていなかったことを先生に叱られ、「書かないと、書かないと」と思っていた手記も書き上げましたので、あとはのんびりところらでの治療を続けたいと思っています。

でも保険外の漢方薬はやはり高額なので、早く保険内での漢方薬だけになるとお財布にも優しいのになあとは思っています。今後もしばらくお世話になりますが、松本先生・病院の方々よろしくお願い致します。